

## 波の周期と砂の粒径の違いによるウェーブリップルのでき方

### How ripples formation dependence on the size of sand grains and the amplitude of vibration cycle

\*遠田 剛志<sup>1</sup>、\*三井 隆太郎<sup>1</sup>

\*Tsuyoshi Enta<sup>1</sup>, \*Ryutaro Mitsui<sup>1</sup>

1. 海城高等学校

1. Kaijo Senior High School

ウェーブリップルができる条件について、水と砂を入れたペットボトルを用いて実験した。レゴブロックのマインドストームを使い、ペットボトルを4パターンの周期（速度を揃えて振り幅を2cm、3cm、4cm、5cmで実験）砂の粒径も5パターン（90 $\mu\text{m}$ 以下、125~250 $\mu\text{m}$ 、250~500 $\mu\text{m}$ 、未ふるい、90 $\mu\text{m}$ 以下+250~500 $\mu\text{m}$ ）に分けた。それぞれのパターンでできたウェーブリップルの山の部分の数を計測し、結果を考察した。

キーワード：リップルマーク、ウェーブリップル、堆積学

Keywords: Ripple mark, Wave ripples, Sedimentology